

## 制度再構築に向けた主な課題の検討について

今年度の技術検討会において、制度再構築に向けた主な検討課題として、「建築物環境計画書制度の提出対象規模の拡大」（資料 2）、「建築物の環境性能表示」（資料 3）のほか、以下の課題について、議論を行った。

1. 省エネルギー性能に関する評価の見直し
2. 断熱性能に関する評価の見直し
3. 建築物の環境性能に関する総合評価制度（CASBEE）の活用

これらの 3 つの課題について、技術検討会で提示した方向性の概要及び委員から出された主な意見をまとめる。

### 1. 省エネルギー性能に関する評価の見直し

#### (1) 見直しの方向性の概要

- 非住宅用途の性能評価に ZEB の考え方を導入し、ZEB 建築物等、省エネルギー性能が特に高い建築物を明確に評価し、普及に向けて誘導
- 住宅用途の性能評価は、非住宅用途の評価と同様に、一次エネルギー消費量の削減率による評価に変更
- 段階評価の設定は、BELS 評価等の基準を参考に検討
- 複合用途建物の段階評価について、現行の CASBEE における評価等を参考に検討が必要

#### (2) 委員から出された主な意見

- ZEB の概念を評価に取り入れ、現行制度の段階 3 に相当する建物の中で差別化を図るのはよいと思う。
- 高層・超高層の建物では、現状の計算方法では ZEB の達成は難しい。例えば、シンガポールでは建物の階数によって評価段階を分けているが、高層建物への配慮を行い、事業者の意欲を高める評価方法にすることが望ましい。
- 建物自体の省エネ化だけでなく、地域冷暖房の活用など、面的なエネルギー利用も評価できる制度にすることが望ましい。
- 住宅用途（集合住宅）の評価の検討は、国の検討状況を参考にしながら進めてほしい。
- 現状、小規模な集合住宅において、省エネ基準に対する適合率が悪い。環境性能のボトムアップにつながるような制度を検討してほしい。

## 2. 断熱性能に関する評価の見直し

### (1) 見直しの方向性の概要

- 非住宅用途建物の評価において、現行制度で実施している「PAL\*低減率」による評価は継続。段階評価の基準は、現行の環境計画書での PAL\*低減率の値の記載状況等を考慮した上で検討。
- CASBEE における評価項目を参考に、窓や外壁等における外皮性能（熱貫流率等）に基づく評価の導入を検討。
- 住宅用途建物の評価において、現行制度の「段階3」（品確法の断熱等性能等級4相当）の取得率が非常に高いことから、 $U_A$ （外皮平均熱貫流率）等の基準による評価の導入を検討。

### (2) 委員から出された主な意見

- PAL\*低減率（性能基準）と、日射遮蔽係数や熱貫流率（仕様基準）を記載させ、どちらかの基準を満たせばいいという評価方法は良い案だと思う。
- 性能基準と仕様基準でそれぞれ満たすべき基準を示すことにより、建材メーカー等にとってもわかりやすく、基準達成に向けて取り組みやすくなると思う。
- 段階評価の用途区分は、複雑にしない方が良い。
- 用途ごとに高い評価を得るための難易度に違いがあると、環境計画書の提出者にとって不公平感があると思う。
- 用途ごとに高い評価を得るための難易度に違いがあってもよい。高い評価を得るのが難しい用途における達成を際立たせるような評価もあってよいのではないか。
- 用途ごとの評価達成の難易度の違いを補うような加点要素を導入できるとよい。

### 3. 建築物の環境性能に関する総合評価制度（CASBEE）の活用

#### (1) 方向性の概要

- 環境計画書の提出は、「建築物環境計画書（取組評価書）による提出」又は「CASBEE の評価結果を用いた提出」のいずれかを提出者（建築主等）が選択できるようにする。
- 建築物環境計画書（取組評価書）の評価項目及び方法は、CASBEE と可能な限り整合を図るよう、検討を行う。
- 建築物環境計画書（取組評価書）により提出する場合は、取組評価書において環境配慮 4 分野に関する項目別の評価入力を行い、提出する。
- CASBEE の評価結果を用いた提出を行う場合、CASBEE の評価結果から環境配慮 4 分野に関する部分を抜粋し、定量的な事項等の必要事項を追記した上で提出する。
- 「建築物環境計画書（取組評価書）」、「CASBEE の評価結果」のどちらで提出した場合も、提出する環境計画書の内容の概要を示す「取組評価書まとめ（仮）」が同じ形で作成される。
- CASBEE の評価結果を用いた提出に関して、どのような形で提出を求めるのか検討が必要。（自己評価方式又は認証機関による第三者認証方式）

#### (2) 委員から出された主な意見

- CASBEE での提出が可能になると、事業者への負担が減り、良いことだと思う。
- CASBEE の評価結果から抜粋する部分は、簡単に入力（できれば自動入力）できることが望ましい。
- 建築物環境計画書（取組評価書）と CASBEE で、使用している用語を統一できることが望ましい。
- CASBEE の評価は、自己評価で良いと思う。提出のたびに第三者認証を行うと、提出者にとって手間が大きい。